

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第6回）議事概要

日 時 令和6年（2024年）10月9日（水）14:00～16:00

場 所 宝塚市役所第二庁舎1階 会議室A・B

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長	●	
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会	島津 早苗代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	赤阪 俊一会長 岡田 英里副会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長		
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	奥野 廣明政策室長	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長	●	
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

<その他>

市民交流部 藤田次長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長他

総合防災課 大芝係長、岩崎職員

宝塚NPOセンター 平岩氏

宝塚市社会福祉協議会 太田係長

傍聴者 なし

議事概要（要旨）

1. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第5回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

2. 防災について

(1) 防災の取り組み事例共有②（売布）

売布小学校区まちづくり協議会より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

ア マニュアルはどのように活用しているか、もしくは今後どうしたいと思っているかを教えてほしい。

イ（売布）マニュアルを活用している機会は、年1回の防災訓練と防災部会で主に活用している。各戸配布することは困難であるし、配布しても読まないという方がほとんどだと思う。また、実際に災害が起きて避難した際にマニュアルを読むということはないと思う。個人的にはマニュアルを作成する過程に意味があったと思っている。多くの人が話し合いに参加して、防災意識が高まり、地域内の危険箇所について共有する中で気づきがあった。

ウ（売布）夜間避難訓練をした際に子どもがすごく集まった。また、夜間に実施することで、暗くて危険な場所など、昼間には気付かなかったことにも気付くことができた。

エ 昼間の防災訓練の対象はどうしているか。

オ（売布）防災訓練実施の周知は自治会中心で行っていて、対象は全住民である。商店への声かけは行っておらず、防災訓練の開催が土日のため学校の先生の参加は難しい状況である。

カ 防災訓練時の役割分担はどのようにしているか。

キ（売布）マニュアル上では役割分担は決めていない。避難所に来た人で分担して運営するかたちをとっている。神戸市の事例で「できますゼッケン」というものがあり、実際に防災訓練の際に使っている。参加者もスタッフであるという当事者意識を持ってもらうために活用している。

ク 安否確認の訓練はされているか。

ケ（売布）安否確認の訓練は難しい。本来であれば各自治会で安否確認をしたり、災害の状況を伝えてもらいたいということを経理会長と口頭で話しているが、集まる場所すらないという自治会もあるため、マニュアルは詳細まで記載できていない。

コ マニュアルの内容は地域住民の何パーセントの方が理解されているのか。訓練時、マニュアルの作成に携わった方は理解されているが、理解されていない方が

多い。

- サ (売布) 理解している方はごく少数ではないかと思う。自治会長を長くされている方はよく理解されているし、毎年自治会長が変わる自治会は、1年間活動に参加してもらっている中で少しずつ理解していってもらえるのではないかと思う。

(2) 代表者交流会ワークショップについて

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

- ア (座長) 地域によっては水害に遭うことはないため避難所に行かない人もいると思うが、避難所は避難して生活するという機能だけでなく、情報、物資の拠点となる等さまざまな機能がある。12月のワークショップでは避難所の機能について意見交換ができればと思っている。

(3) 学校受水槽応急給水設備整備工事について (総合防災課)

総合防災課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

- ア 災害発生時、受水槽からの排水は停止するのか。
- イ (総合防災課) 自動で停止する。給水できなくなるため貯留している水を活用するという作りである。そのため小学校内の水道は使用できなくなる。
- ウ 貯水槽内の水は何日分あるのか。
- エ (総合防災課) 1人あたり1日3リットルの水が必要とされていて、約15トン多いところでは20トン以上貯水している。2~3日は貯水槽の水でしのぎ、給水車等で補水してカバーしていくことになると思う。
- オ 災害時、帰宅が出来ず学校に残される児童がたくさんでる想定をしている。学校内の水道が断水した状態で一夜を過ごさないといけないことも想定されるが、受水槽からの排水は可能であるのか。
- カ (総合防災課) 設備設置の際には学校の先生にも使い方を共有する。
- キ 応急給水栓はどこで保管するのか。
- ク (総合防災課) 各学校によって保管場所は違うため、現場を見て保管場所を判断する。令和6年度設置予定の7箇所の地域の方々には事前に周知をして、実際に実物を見てもらえたらと思っている。
- ケ 良元小学校の地下には耐震性貯水槽があり、災害時にまち協の役員で給水栓を繋ぐ等の操作できるか不安である。地下にある貯水槽も今回の工事対象になるのか。また耐震性貯水槽の管理はどこがしているのか。
- コ (総合防災課) 今回は工事対象外となる。耐震性貯水槽の維持管理は水道局と消防がしている。地域の方々に操作するのはかなりハードルが高いと思うため、優先的に職員が向かうことが出来るよう、水道局と連携をとって検討していく。
- サ 逆瀬台小学校は土砂災害危険区域内であるため、避難所開設はされない。それとは関係なく給水設備は設置されるのか。
- シ (総合防災課) 給水設備の設置に至ったきっかけは能登半島地震で、半島を襲っ

た地震であったため水道管が断裂して、水道が復旧しない事象が起きたため、本市でも給水設備の設置に至った。避難所開設されないというのは風水害の際だと思うが、地震発生時は、土砂災害危険区域に指定されている地域でも慎重に判断をして避難所は開設するため、給水設備は活用していただきたいと思う。

ス 土砂災害危険区域に隣接していても地震の場合は避難所開設されるということか。

セ (総合防災課) 土砂災害等で避難所が被災している際は開設困難だが、状況を見て開設したいと考えている。ただ、風水害の災害時は土砂災害危険区域に指定されている地域にある避難所は開設されない。

3. まちづくり協議会同士の物品貸借システムについて

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。

ア (売布) お祭りの際に必要な物品のうち、使用頻度が少ないものについて、毎年、様々なところに連絡して貸してもらっている。反対に、当まち協で使用している年数回しか使用しない物品についても、他の地域に貸し、使ってもらえるのではないかと考えて相談をした。

4. 地域ごとのまちづくり計画

(1) 地域ごとのまちづくり計画の「対話」「進捗管理」の仕組みにかかるアンケート(令和5年度実施)結果共有

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいてアンケート結果の共有があった。

(2) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

安倉地区まちづくり協議会の推進シート及び対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。

ア【安倉】協働の推進担当次長に対話の場を設けていただき、記録に残してまちづくり計画を実行していこうと思っている。相手の顔が見える状況で対話を行い、安全に暮らせるまちづくりを目指して尽力している。安倉地域で人身事故が多発している場所で、先日また事故が起きた。警察に依頼し、新たに右折の信号を設置してもらった。少し気になったことでも対話の仕組みを活用していきたいと思う。

5. ポータルサイトブログの閲覧状況について

市民協働推進課より、標記について、配布資料に基づいて報告があり、投稿数・閲覧数共にトップの宝塚第一小学校区まちづくり協議会からコメントがあった。

(一小) まち協ができて18年が経ち、会長も頻繁に変わっている。記録、記憶に残すためにも、何が起きているのか、何がしたいのかということブログで発信している。

6. 地域活動について

(1) 「魅力的・特徴的なまち協活動（多様な世代の参加につながった事例、負担軽減・事務効率化を図った事例等）」についての紹介・質疑応答（一小・未成）

【宝塚第一小学校区まちづくり協議会】

（発表）

代表者より、配布資料に基づいて発表を行った。

【宝塚市未成小学校地域まちづくり協議会】

（発表）

代表者より、配布資料に基づいて発表を行った。

（意見交換）

ア 会計処理システムは誰が閲覧できるようになっているのか。

イ （未成）運営委員は全員閲覧できるようになっている。市から提供のあった帳簿システムとは違うが、どれくらい使っているかが把握できるようにしている。

ウ まち協補助金の精算報告書提出時に領収書の添付は必要ないとなっているが、私のまち協はすべての領収書を添付して提出している。未成はどのようにされているか。

エ （未成）精算報告書提出時に領収書の添付は行っていない。現地確認の際に帳簿と領収書が一致しているかを確認してもらっている。

(2) 事例共有「クラウドファンディング（資金確保）」（売布）

売布小学校区まちづくり協議会より、標記について説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

ア クラウドファンディングの実施は、業者に委託したのか。

イ （売布）クラウドファンディングのサイトはいくつかあるが、今回は「キャンプファイヤー」というサイトを使った。必要項目を入力してだけでサイトが完成する。

ウ 業者への委託費用はかからないのか。

エ （売布）寄付額の2割は業者に支払う。

オ 花火打ち上げ数と費用はどれくらいかかったのか。

カ （売布）花火打ち上げ数は500発で、費用は42万円。打ち上げはすべて業者に依頼した。

キ 学校で花火をしても問題ないのか。

ク （売布）玩具花火という種類の花火を使ったので、消防にも届け出がいらなかった。

ケ 寄付者55人はどういった方だったのか。

コ （売布）ほとんどが地域の方だった。LINE、ブログ、掲示板、PTAへのメールでクラウドファンディングの案内を行った。

7. 市民協働推進課からのお知らせ

市民協働推進課より、以下(1)・(2)について、説明を行った。

- (1) 子育て支援グループ活動促進事業助成のご案内（再募集）（子ども家庭支援センター）
- (2) 市制 70 周年記念たからっ子フェスタの開催について（お知らせ）（子ども政策課）

8. 宝塚 NPO センターからのお知らせ

宝塚 NPO センターより、以下(1)～(4)について、報告があった。

- (1) フードシェアリング 食品提供のお願い
- (2) フードシェアリング 配布会のお知らせ
- (3) フードシェアリング ボランティア募集の件
- (4) 創業への「はじめの一步」講座開催の件

9. 社会福祉協議会からのお知らせ

社会福祉協議会より、以下について、報告があった。

- (1) ちからたくわえ中 Vol.2
 - ア 不登校からそのまま引きこもってしまうケースや学校を卒業してから引きこもりになるケースなどがあると思うが、どういうケースが多いか。
 - イ (社協) 今あげていただいたケースが多いかと思う。学校での友達関係や学習に躓いて不登校になって引きこもったまま大人になってしまった方や学校に通っている間は問題なかったが、社会に出てなじむことができずに引きこもりになってしまうというケースが多い傾向にある。
 - ウ 引きこもっている方がいたら社協に報告をしてくださいということなのか、こういう方がいるということを知っておいてくださいということか。
 - エ (社協) 2つお願いしたい。1つは、もし引きこもりになっている方がいれば教えてほしい。もう1つは、引きこもりの方との関わり方として、無理やり外に連れ出すというやり方は良くないということをご理解いただきたい。

10. その他

- (1) パークマネジメント計画について

(座長) 公園河川課と2回協議を行った。モデル地区選定のあり方も含めて検討していくこととなった。今後各まち協へ説明に伺うとのことで、これから連絡があると思う。次回以降の代表者交流会で、今後の方針について公園河川課から説明をしてもらおう予定である。

- (2) 中学校部活動の地域移行について

ア (山本山手) 2026年から中学校の部活動が民営になる予定であるが、民営で運営する方法はまだ決まっていないということを知った。今後の部活動の地域移行の方針について教育委員会から話を聞きたいと思っている。

イ (未成) 中学校の部活だけでなく、音楽隊も地域に移行できないかという動

きがあり、地域で運営してもらえないかという話があったが初耳だった。今後の方針については担当課から説明をしてほしいと思っている。

ウ （中山台）学校のサッカー部がなくなって地域の人で指導しているという事例はある。

エ （西山）部活動の顧問から「顧問を辞めたい」という意見がどれくらいあるのかということも聞きたい。

オ （一小）働き方改革の一環でこの制度を全国的に導入するとなっているが、有償無償の問題もある。今年の夏休みに地域児童育成会に地域から指導委員、補助委員を有償で派遣した。また、中学校生徒会から、定期考査前の土日に自主学習できる場所を使わせてほしいと依頼を受けて、宝梅ハウスを解放している。学校の運営に対するサポートは、今後地域に依頼がたくさんあると思う。

カ （座長）次回以降の代表者交流会の議題にあげるかについて、座長副座長で話し合う。

11. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。